

声

今、困っていること

薬学部薬品分析学教室（大学院自然科学研究科）

御 船 正 樹

現在、当教室の廃液で処理に困っているものについて二つ程述べさせていただきます。

まず、毎日、実験をする度にどんどん蓄積され、一番量が多くなり処理に困るものが、液クロの廃液である。純粋な有機溶媒のみを用いていればまだ良いが、大抵、20～70%程度の水、又は、緩衝液などを含有するため一度蒸留でもしなければ有機廃液としても、無機廃液としても処理できないことになる。その上、実験によっては、二、三種の有機溶媒を混合させて更に水又は緩衝液を加えることもあるであろうし、そうなればどのようにして環境管理センターに持って行けばよいのであろうか。

次いで、問題になるのは、有機金属化合物の処理である。生物無機化学系の研究が多いため有機金属化合物の合成を行なうことが多い、まだ、水溶液中で合成を行なう場合、廃液は、フェライト法で磁化できる限り無機物として処理していただけるが、問題となってくるのは、有機溶媒中で合成を行なった場合である。ポルフィリンなどの有機化合物に対し、過剰量の金属化合物を加えることになるので、精製の段階で有機溶媒の中に溶解した金属が残ることになり、金属含有の有機廃液ができることになる。このような廃液の処理はどうしたら良いのだろうか。

以上の二点が現在、困っていることであるが、様々な実験を行なえば、また、新しい問題が出て来るであろう。その都度、環境管理センターと相談して処理していきたいと考えている。